

港年「愛」テーマに祝賀

開 153周年 あすまで 多彩なイベント

1859年の横浜開港から153周年を祝う「横浜セントラルタウンフェスティバル・Y153」のオープニングセレモニーが1日、KAAAT神奈川芸術劇場(横浜市中区山下町)で開かれた。3日まで、食や音楽、物販などさまざまなイベントが繰り広げられる。同フェスティバル実行委員会(北村宏委員長)な



セレモニーであいさつをする北村委員長(左)
|| 中区のKAAAT神奈川芸術劇場

どの主催。

2009年の「開国博Y150」の翌年から記念祭は毎年開かれ3回目。「横浜セントラルタウン」と名付けた馬車道、関内、山下公園通り、横浜中華街、元町、山手の各地区を会場にして行われている。

セレモニーには、約300人が集まり、林文子市長らが出席。北村委員長(65)は「愛をテーマに始めたこのイベント。200周年まであと47回続けたい」と呼び掛けた。

中華街の一角にある市立

港中学校吹奏楽部による「ブルー・ライト・ヨコハマ」の合奏や、横浜中華学院幼稚園によるかわいらしい「龍舞」などが披露され、会場を盛り上げた。

期間中、6地区を回るウォークラリーが行われるほか、2日には中国衣装人気コンテストや開港祝賀パレード、3日には「スポーツGOMI拾い」など、「慈愛」をテーマにさまざまな催しが予定されている。

(祓川 崇)

地酒や菓子ずらり

福島県二本松市 J.C.、開港バザー出店

横浜公園で開催中の横浜開港バザーに福島県二本松市の青年会議所(J.C.、東澤計昌理事長)が2年連続で出店し、地酒や和菓子など地元の名産品を販売している。3日まで。同J.C.は、東日本大震災

横浜市民とふれあいながら地元の名産品を販売する二本松青年会議所のメンバー

|| 横浜公園

と東京電力福島第1原発の事故により、同市が風評被害に苦しんでいることを知った県不動産コンサルティンク協会(川崎五郎会長)の協力で、昨年のバザーに出店した。

東澤理事長は「ほかでも物産展を開いたが、訪れてくれた人数も交わした言葉も」が一番だった」と、大きな手応えを感じた前回は振り返る。

同市には名湯岳温泉があり、観光が主要産業。東澤理事長は「今も(風評被害を)払拭できていないのが現状。観光復興のために、自分たちが出て行って安全を伝えていくしかない」と前回は上回る計約20



人が入れ替わりながら元気を発信する。

今回もメンバーと訪れた横浜市民が気さくに会話を交わす場面が見られ、日本酒を買い求めた横浜市南区

の男性(27)は「話をしてみて買うことにした。少しでも力になれば」と話していた。

(岡部 伸康)

福島県二本松市J.C.、去年に引き続き横浜開港記念バザーに出店しました。元気な二本松市J.C.の皆さんと再会できて本当に良かったです。